

講習の名称：新発見！家庭科力

担当講師：上里 京子（教育学部教授）

講習開講日：令和2年12月20日（日）

時間数：6時間

主な受講対象者：小学校教諭及び家庭科を担当する中学校・高等学校・特別支援学校教諭

キーワード：新しい家庭科カリキュラム，欧米の家庭科カリキュラム

講習の概要：

現行の家庭科カリキュラムを省察し、自己理解に関する学習などの新しい内容を含んだカリキュラムと家庭科で育成する諸能力との関係について考察する。また、現代の家庭科カリキュラムの課題について、欧米の家庭科カリキュラムと比較しながら考察し、その解決方法を検討する。

講習の展開：

- 第1時限 家庭科教育学のメソドロジー（家庭科教育の目的・対象・方法論、家庭科で育成するコンピテンシーと学力構造）
- 第2時限 小・中学校における家庭科の現状と課題（2017年版学習指導要領における家庭科カリキュラムの検討）
- 第3時限 家庭科における人間関係と人間発達に関する教育内容（家族・保育教育）とその構成
- 第4時限 欧米の家庭科カリキュラムの現状と日本の家庭科教育の可能性（日・仏・米のナショナル・スタンダード及び教科書内容の比較検討）

受講に当たっての要件（講習内容のレベル）：

特になし。ただし、家庭科の授業実践報告ができるようにしておくことが望ましい。

授業の形式：講義を中心とし、可能な場合は授業実践報告と授業研究討論などの演習を組み込む。

履修認定試験：

論述形式の筆記試験（ノートと配付資料は持ち込み可）。講義を通して受講者が、新しい家庭科カリキュラムについてどのように考察を深めたかを問いたい。

テキスト・参考文献：

参考文献として、中間美砂子他編著『小学家庭科の指導』建帛社、2010、中間美砂子他編著『中学校・高等学校 家庭科指導法』建帛社、2011 他

※ 既に次の文献を持っている受講者は講義に持参することが望ましい。：

「小学校家庭科教科書」，「中学校家庭科教科書」